

令和8年度 第1学年 国語科 シラバス

教科目標

- 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したり力をする養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書し、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

評価の観点及び趣旨

① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
○社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	○「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにしている。	○言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを確かなものにしたりしながら、言葉がもつ価値に気付こうとしているとともに、進んで読書をし、言葉を適切に使おうとしている。

年間指導計画・評価計画

月	単元(題材)名 ※【】内数字は配当時数	単元(題材)の目標	観点ごとの評価場面 評価方法(評価資料)
4	1 言葉に出会うために 「朝のリレー」【1】 「野原はうたう」【2】 「はじまりの風」【4】 「情報を聞き取り、要点を伝える」【1】	① ・音声の動きや仕組みについて、理解を深める。 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増やし、語感を磨き、語彙を豊かにする。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深める。 ・読書が知識や情報を得たり、考えを広げたりするために役立つことを理解する。	音読・朗読 発言・発表内容 漢字プリント 教科書 ワーク
5	「季節のしおり 春」 「言葉1 音声の仕組みや動き」【1】 [書く]「話の構成を工夫しよう」【4】 「漢字1 漢字の組み立てと部首」【1】 「漢字に親しもう」【1】	② ・目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にする。 ・場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基にとらえる。 ・日常や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、内容を検討する。 ・本や資料からの引用を通して、事実やそれを基に考えたことを書く。 ・考えや根拠が明確になるように、中心と付加、事実と意見などの関係に注意し、話の構成を考える。 ・文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述を基にとらえ、要旨を把握する。 ・相手の反応をふまえながら、自分の考えの伝え方の表現を工夫する。	授業ノート 授業プリント 漢字小テスト テスト
	「ダイコンは大きな根？」【2】 「ちょっと立ち止まって」【3】	③ ・音声の動きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読する。 ・場面の展開について、描写を基に積極的にとらえ、学習の見通しをもって表現や心情の変化について話し合う。 ・話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもって話したり、文章を書いたりする。	

		<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題に沿って、積極的に語句についての知識を深め、練習問題に取り組む。 ・進んで文章の要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合う。 	
6	<u>2 新しい視点で</u> 「情報整理のレッスン 比較・分類」 【1】 「情報を整理して説明しよう」 【4】 「言葉2 指示する語句と接続する語句」 【1】 <u>3 言葉に立ち止まる</u> 「空の詩 三編」 【3】 「言葉3 さまざまな表現技法」 【1】 「比喩で広がる言葉の世界」 【2】 「文法1 言葉の単位」 【1】	① <ul style="list-style-type: none"> ・表現技法を理解する。 ・事象や行為、心情を表す語句を増やし、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深める。 ・語句の役割や単語の類別について理解する。 ② <ul style="list-style-type: none"> ・目的や意図に応じて、題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいこと明確にする。 ・書く内容の中心が明確になるように、段落の役割を意識して文章の構成や展開を考える。 ・文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考える。 ・文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基にとらえ、要旨を把握する。 ③ <ul style="list-style-type: none"> ・詩の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、見通しをもって詩を創作する。 ・表現技法や比喩、言葉の単位について、学習課題に沿って理解を深める。 	音読・朗読 発言・発表内容 漢字プリント 教科書 ワーク 授業ノート 授業プリント 小テスト 定期テスト
7	「心情を表す言葉」 【1】 <u>情報×SDGs</u> 「情報収集の達人になろう」 【3】 <u>いつも本はそばに</u> 「読書を楽しむ」 【1】 「本との出会い」 【1】 「季節のしおり 夏」	① <ul style="list-style-type: none"> ・事象や行為、心情を表す語句を増やし、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深める。 ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ・読書が知識や情報を得たり、考えを広げたりするために役立つことを理解する。 ② <ul style="list-style-type: none"> ・目的や意図に応じて、題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいこと明確にする。 ・文章を読んで、理解したことに基づいて自分の考えを確かなものにしている。 ③ <ul style="list-style-type: none"> ・事象や行為、心情を表す語句の量を増やすとともに、話や文章の中で使っている。 ・これまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にする。 ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを進んで理解し、本の魅力や感想を伝え合う。 	音読・朗読 発言・発表内容 漢字プリント 教科書 ワーク 授業ノート 授業プリント 小テスト 定期テスト
9	<u>4 心の動き</u> 「大人になれなかった弟たちに」 【4】 「星の花が降るころに」 【5】 「案内文を書く」 【3】 「推敲 読み手の立場に立つ」 【1】 「言葉4 方言と共通語」 【1】	① <ul style="list-style-type: none"> ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解する。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、使う。 ・場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈する。 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・共通語と方言の果たす役割について理解する。 	音読・朗読 発言・発表内容 漢字プリント 教科書 ワーク 授業ノート 授業プリント

		<p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて描写を基にとらえる。 ・目的や意図に応じて、題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいこと明確にする。 ・書く内容の中心が明確になるように、段落の役割を意識して文章の構成や展開を考える。 ・読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方を確かめて、文章を整える。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の心情の変化などを、描写をもとに積極的に捉え、朗読しようとしている。 ・場面や描写を結び付けて内容を解釈し、考えを伝え合おうとしている。 ・必要な情報を積極的に集め整理し、文章を書き、粘り強く推敲する。 	小テスト 定期テスト
10	<p>「聞き上手になろう 質問で話を引き出す」 【2】</p> <p>「漢字2 漢字の音訓」 【1】</p> <p>5 筋道を立てて</p> <p>『言葉』をもつ鳥、シジュウカラ 【5】</p> <p>「思考のレッスン1 意見と根拠」 【1】</p> <p>「意見を明確にして書こう 資料を引用して報告する」 【5】</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読み書きや音声の働きや仕組みについて、理解を深める。 ・記録や質問をしながら話の内容を捉え、共通点や相違点を踏まえ自分の考えをまとめる。 ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深める。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考える。 ・根拠を明確にししながら、考えが伝わるように工夫する。 ・根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章の良い点や改善点を見いだす。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで質問をしたり、漢字の読み書きに取り組んだりしている。 ・文章の構成や展開、根拠の明確さについて粘り強く考え、学習の見通しをもって文章にまとめる。 ・根拠の客観性や理由付けを積極的に検討しながら、意見と根拠の関係について理解を深める。 	音読・朗読 発言・発表内容 漢字プリント ワーク 授業ノート 授業プリント 小テスト 定期テスト
11	<p>「漢字に親しもう3」 【1】</p> <p>「文法2 文の組み立て」 【2】</p> <p>「聴き浸ひたる 大阿蘇」 【1】</p> <p>「季節のしおり 秋」</p> <p>6 いにしへの心にふれる</p> <p>「古典の世界 音読を楽しむ いろは歌」 【1】</p> <p>「蓬萊の玉の枝—『竹取物語』から」 【4】</p> <p>〔漢文〕 今に生きる言葉 【3】</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読み書きや単語の類型について理解する。 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典には様々な種類の作品があること積極的に知り、学習を生かして古文を音読する。 ・音読に必要な文語の決まりや訓読の仕方を知り、古文・漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。 ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深める。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする。 ・書く内容の中心が明確になるように、段落の役割を意識して文章の構成や展開を考える。 ・目的に応じて、必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。 ・根拠を明確にししながら、考えが伝わるように工夫する。 	音読・朗読 発言・発表内容 漢字プリント ワーク 授業ノート 授業プリント 小テスト 定期テスト

	<u>7 価値を見いだす</u> 「不便の価値を見つめ直す」 【4】	③ ・学習課題に沿って、積極的に漢字の読み書きに取り組んだり、文の組み立てを理解しようとしていたりしている。 ・進んで言葉の響きやリズムを味わい、語感を磨きながら詩を味わおうとしている。 ・進んで古文を音読し、古典の世界に親しみ、想像する。 ・積極的に漢文を音読し、故事成語を使った文章を書く。 ・必要な情報に着目し、粘り強く要約し、自分の考えを文章にまとめようとする。	
12	「思考のレッスン2 原因と結果」 【1】 「漢字に親しもう4」 【1】 「話し合い（進行）進め方について考えよう」 【1】 「季節のしおり 冬」 「話題や展開を捉えて話し合おうグループで語り合い、ものの見方を広げる」 【4】 いつも本はそばに 本の世界を広げよう 【1】	① ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解する。 ・漢字の読み書きを理解し、文章の中で使っている。 ・意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。 ② ・話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができる。 ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする。 ③ ・積極的に授業内容について理解しようとしていたり、漢字の読み書きに取り組んだりしている。 ・進んで話題や展開を捉え、よりよい話し合いの仕方について考えをまとめようとする。 ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを情動的に理解し、考えたことを伝え合う。	音読・朗読 発言・発表内容 漢字プリント ワーク 授業ノート 授業プリント 小テスト 定期テスト
1	<u>8 自分を見つめる</u> 「少年の日の思い出」 【7】 「漢字に親しもう5」 【1】 「文法3 単語の分類」 【2】 「二十歳になった日」 【4】	① ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すと同時に。語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・漢字の読み書きを理解する。 ② ・文章を読んで、理解したことに基づいて自分の考えを確かなものになっている。 ・文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考える。 ・根拠を明確にしなが、考えが伝わるように工夫する。 ③ ・文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字の読み書きをしたり、単語の類型を理解しようとしていたりしている。 ・進んで心情を表す表現とその効果について考え、筆者の見方を捉え、随筆を読み味わおうとしている。	音読・朗読 発言・発表内容 漢字プリント ワーク 授業ノート 授業プリント 小テスト 定期テスト
2	構成や描写を工夫して書こう 体験を基に随筆を書く 【5】 「漢字3 漢字の成り立ち」 【1】 「一年間の学びを振り返ろう 要点	① ・漢字の読み書きを理解する。 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すと同時に。語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	音読・朗読 発言内容 漢字プリント ワーク

	を資料にまとめ、発表する」 【4】	<ul style="list-style-type: none"> ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深める。 	授業プリント 定期テスト
		② <ul style="list-style-type: none"> ・書く内容の中心が明確になるように、段落の役割を意識して文章の構成や展開を考える。 ・根拠を明確にしなが、考えが伝わるように工夫する。 ・相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。 ・目的や意図に応じて、題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいこと明確にする。 	
		③ <ul style="list-style-type: none"> ・粘り強く文章の構成や展開を考え、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。 ・積極的に漢字の成り立ちについて理解し、辞典を使って調べている。 ・集めた材料を積極的に整理し、今までの学習を生かして要点をまとめ、発表しようとしている。 	
3	「ぼくがここに」 【2】 <u>学びを深める</u> 「国語の力試し」 【3】	① <ul style="list-style-type: none"> ・表現技法を理解する。 ・音読に必要な文語の決まりを知り、古典の世界に親しむことができる。 ② <ul style="list-style-type: none"> ・文章について理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする。 ・文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基にとらえ、要旨を把握する。 ・表現の効果について、根拠を明確にして考える。 ・話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができる。 ・目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいこと明確にする。 ・読み手の立場に立って、表語や語句の用法、叙述の仕方を確かめて、文章を整える。 ③ <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に詩を読み味わって考えを深め、考えたことを伝え合おうとしている。 ・今までの学習を生かして、それぞれの学習課題に粘り強く取り組もうとしている。 	音読・朗読 発言・発表内容 漢字プリント ワーク 授業ノート 授業プリント 小テスト 定期テスト

定期テスト範囲（予定）

1 学期期末テスト	2 学期中間テスト	2 学期期末テスト	学年末テスト
1 言葉に出会うために～3 言葉に立ち止まる	4 心の動き～ 5 筋道を立てて	6 いにしえの心にふれる～ 7 価値を見いだす	8 自分を見つめる

学習上のアドバイス

<p>授業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力の向上は、とにかく授業を大切にすることが一番です。教室は正解を言い合いに来る所ではありませんから、安心して積極的に発言・発表しましょう。 ・疑問点を明らかにして授業に臨み、その疑問を解決する、という姿勢で毎時間の授業を大切にしてください。 <p>家庭学習について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人で考え、取り組む家庭学習の時間を設定することで、着実に学力は付いていきます。漢字学習と音読は毎日行いましょう。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字検定を年に2回、校内で実施します。プリントや掲示でお知らせします。読書については、お薦めの良書から選択して、どんどん読みましょう。
--

教科目標

- 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
 - (2) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
 - (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

評価の観点及び趣旨

① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
○社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	○「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	○言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、読書を生活に役立て、言葉を適切に使おうとしている。

年間指導計画・評価計画

月	単元(題材)名 ※【】内数字は配当時数	単元(題材)の目標	観点ごとの評価場面 評価方法(評価資料)
4	1 広がる学び 「見えないだけ」【1】 「アイスブラネット」【4】 「意見を聞き、整理して検討する」【1】	① ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解し、使う。 ・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知る。 ・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字350字程度から450字程度までの漢字を読む。 また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使う。	音読・朗読 発言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート (現代・古文・文法) 自主ノート (漢字・短作文・その他復習予習) ワークシート 漢字小テスト 定期テスト
5	「季節のしおり 春」 「枕草子」【5】 「文法への扉1 単語をどう分ける? 文法1 自立語」【2】 「漢字1 熟語の構成」「漢字に親しもう」【1】	② ・文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉える。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする。 ・目的や場面、意図に応じて、社会生活の中から話題や題材を集め、異なる(多様な)立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にし、伝え合う内容を検討する。	
		③ ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。	

6	<u>2 多様な視点から</u> 「クマゼミ増加の原因を探る」【4】 「情報整理のレッスン 思考の視覚化」【1】 「情報を整理して伝えよう」【5】 「漢字に親しもう2」【1】 「文法への扉1 単語をどう分ける？ 文法1 自立語」【3】	① ・話や文章の構成や展開について理解を深める。 ・意見と根拠、具体と抽象など情報との関係について理解する。 ・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気付く。 ・単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解する。	音読、発言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート （現代・文法） 自主ノート （漢字・短作文・その他復習予習） ワークシート 漢字小テスト 定期テスト
	・情報社会を生きる 「メディアを比べよう/メディアの情報を生かして/情報を集めよう / 「自分で考える時間」をもとう」【3】	② ・文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉える。 ・文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈する。 ・自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫する。 ・資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する。	
		③ ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして思いや考えを伝え合う。	
7		① ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し、使う。	発言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート（現代） ワークシート 定期テスト
		② ・目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を理解する。 ・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考える。 ・目的や意図に応じて、多様な方法で集めた材料を整理する。	
	<u>3 言葉と向き合う</u> 「短歌に親しむ」 [書く]短歌を作ろう 「短歌を味わう」【6】 「言葉の力」【2】 「言葉1 類義語 対義語 多義語」【2】 「メディアの特徴を生かして情報を集めよう」【1】	① ・抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かす。 ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語や対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。	音読・朗読 発言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート （現代・古文・文法） 自主ノート （漢字・短作文・その他復習予習） ワークシート 漢字小テスト 定期テスト
		② ・観点を明確にして短歌を比較するなどし、短歌の構成や表現の効果について考える。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする。 ・表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる短歌になるよう工夫する。	
		③ ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝える。	
	・読書生活を豊かに 「読書を楽しむ」【1】 「翻訳作品を読み比べよう」	① ・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かす。	音読・朗読 漢字ノート、ワーク 自主ノート

9	『星の王子さま』 「読書コラム『わからない』は人生の宝物」「読書案内 本の世界を広げよう」 【1】 「季節のしおり 夏」	② ・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考える。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする。	ワークシート	
		③ ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合う。		
10	4 人間のきずな 「ヒューマノイド」 【4】 「字のない葉書」 【3】 「聞き上手になろう 質問で思いや考えを引き出す」 【1】 「表現を工夫して書こう 手紙や電子メールを書く」 【3】 [推敲]表現の効果を考える 【1】 「言葉2 敬語」 【1】 「漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字」「漢字に親しもう」 【1】	① ・抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かす。 ・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気付く。 ・敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使う。 ・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち 350 字程度から 450 字程度までの漢字を読む。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使う。	音読・朗読 発言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート (現代・文法) 自主ノート (漢字・短作文・その他復習予習)	
		② ・目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を理解する。 ・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考える。 ・論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。 ・根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるよう工夫する。 ・読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整える。	ワークシート 漢字小テスト 定期テスト	
			③ ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合う。	
		5 論理を捉えて 「モアイは語るー地球の未来」 【4】 「思考のレッスン1 根拠の吟味」 【1】 「根拠の適切さを考えて書こう 意見文を書く」 【4】 「漢字に親しもう4」 【1】	① ・意見と根拠、具体と抽象など情報との関係について理解する。 ② ・文章の構成や論理の展開について考える。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする。 ・根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるよう工夫する。	音読、発言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート(現代) 自主ノート (漢字・短作文・その他復習予習) ワークシート 漢字小テスト 定期テスト

11	「聴きひたる『月夜の浜辺』」【1】 「季節のしおり 秋」	③ ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合う。	
	6 いにしへの心を訪ねる 「音読を楽しもう 『平家物語』」【1】 「扇の的一『平家物語』から」【3】 「仁和寺にある法師—『徒然草』から」【4】 [書く]人物の特徴を捉えて論じよう【1】 「漢字の風景」【3】	① ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。 ・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知る。 ② ・登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈する。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする。 ・伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫する。 ・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考える。 ③ ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合う。	音読、発言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート(古文) 自主ノート (漢字・短作文・その他復習予習) ワークシート 漢字小テスト 定期テスト
	7 価値を語る 「君は『最後の晩餐』を知っているか」「『最後の晩餐』の新しさ」【4】 「思考のレッスン1 具体と抽象」【1】 「漢字に親しもう5」【1】 討論異なる立場から考える【1】 「立場を尊重して話し合おう 討論で多角的に検討する」【4】 「文法への扉2 走る。走らない。走ろうよ。文法2 用言の活用」【2】	① ・意見と根拠、具体と抽象など情報との関係について理解する。 ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し、使う。 ・抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解することができる。 ② ・目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈する。 ・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考える。 ・根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるよう工夫する。 ・表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだす。 ③ ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合う。	音読、発言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート (現代・文法) 自主ノート (漢字・短作文・その他復習予習) ワークシート 漢字小テスト 定期テスト
	1 ・読書に親しむ 「自分らしさを認め合う社会へ父と話せば／六千回のトライの	① ・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かす。	音読・朗読 漢字ノート、ワーク 自主ノート

2	先に 読書案内 本の世界を広げよう」【1】 「季節のしおり 冬」	② ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする。 ③ ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合う。	
	8 表現を見つめる 「走れ メロス」【6】 [書く]作品の魅力をまとめ、語り合おう【1】 「文法への扉3 一字違いで大違い 文法3 付属語」【2】 「描写を工夫して書こう」【4】 「言葉3 話し言葉と書き言葉」【2】 「漢字3 送り仮名」【2】 「鍵」【2】	① ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語や対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解する。 ・話や文章の構成について理解を深める。 ・話し言葉と書き言葉の特徴について理解する。 ・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち、350字程度から450字程度までの漢字を読む。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使う。 ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使う。 ② ・登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈する。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする。 ・根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるよう工夫する。 ・伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫する。 ・表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだす。 ・互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめる。 ・読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整える。 ・詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする。 ③ ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合う。	音読・朗読 発言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート (現代・文法) 自主ノート (漢字・短作文・その他復習予習) ワークシート 漢字小テスト 定期テスト
	・振り返り 「国語を学ぶ意義」を考え、コピーを作る【5】 ・国語の力試し【3】	① ・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づく。 ・敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使う。 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解する。	言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート (現代・文法)

		<p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉える。 観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考える。 自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫する。 論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する。 読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整える。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合う。 	<p>自主ノート (漢字・短文・その他復習予習) ワークシート</p>
--	--	---	---

定期テスト範囲（予定）

1学期期末テスト	2学期中間テスト	2学期期末テスト	学年末テスト
1 広がる学びへ ～ 3 言葉と向き合う	4 人間のきずな	5 論理を捉えて ～ 6 いにしえの心を訪ねる	7 価値を語る ～ 8 表現を見つめる

学習上のアドバイス

授業について

- 学力の向上は、とにかく授業を大切にすることが一番です。集団で学び合いながら、力を付ける気持ちを持ちましょう。
- 疑問点を明らかにして授業に臨み、その疑問を解決する、という姿勢で毎時間の授業を大切にしてください。

家庭学習のアドバイス

- 一人で考え、取り組む家庭学習の時間を設定することで着実に学力は付いていきます。教わるばかりでなく、自分だけで考える家庭学習は大事な時間です。

その他

- 漢字検定を年に2回、校内で実施します。プリントや掲示でお知らせします。読書については、お薦めの良書から選択して、どんどん読みましょう。

教科目標

- 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
 - (2) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
 - (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。○○言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

評価の観点及び趣旨

① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
○社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	○「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	○言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、読書を生活に役立て、言葉を適切に使おうとしている。

年間指導計画・評価計画

月	単元(題材) 名 ※ 【】 内数字は配当時数	単元(題材) の目標	観点ごとの評価場面 評価方法(評価資料)
4	1 深まる学びへ 「世界はうつくしいと」 【1】 「握手」 【4】 [聞く] 意見を聞き、適切に判断する 「漢字に親しもう1」 【1】 [文法への扉1] 「走って」いるのは誰? 「言葉1 相手や場に応じた言葉遣い」 【1】	① ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・情報の信頼性の確かめ方を理解し使う。 ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむ。 ・話や文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読む。また、学年別常用漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れる。	音読・朗読 発言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート (現代・古文・文法) 自主ノート (漢字・短文・その他復習予習)
5	「文法1 文法を生かす」 【1】 「説得力のある構成を考えよう」 【3】 「学びて時に之を習ふー『論語』から」 【2】 一季節のしおり 春一 「情報整理のレッスン 情報の信頼性」 【1】	② ・文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉える。 ・文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫する。 ・目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討する。 ・目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にする。 ・文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考える。	ワークシート 漢字小テスト 定期テスト

6	「文章の種類を選んで書こう 修学旅行記を編集する」【4】	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつ。 話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを広げたり深めたりする。 	
	<u>2 視野を広げて</u> 「作られた『物語』を超えて」【3】 「思考のレッスン 具体化・抽象化」【1】 「書く」「論理の展開を意識して書こう」【4】 「漢字 1 熟語の読み方」 「漢字に親しもう 2」【1】	③ <ul style="list-style-type: none"> 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。 	
		① <ul style="list-style-type: none"> 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深める。 情報の信頼性の確かめ方を理解し使う。 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読む。また、学年別常用漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れる。 ② <ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉える。 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価する。 目的や意図に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討する。 自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫する。 ③ <ul style="list-style-type: none"> 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。 	音読、発言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート （現代） 自主ノート （漢字・短作文・その他復習予習） ワークシート 漢字小テスト 定期テスト
7	<u>3 言葉とともに</u> 「俳句の可能性」 「書く」俳句を作って楽しもう【3】 「俳句を味わう」【1】 「言葉の釣り糸を垂らす」【1】 「言葉 2 和語・漢語・外来語」 「語彙を豊かに」【1】	① <ul style="list-style-type: none"> 俳句表現意図による語句の使い分けに着目し、語幹を磨く。 俳句の特徴について理解を深める。 言葉がもつ価値を認識するとともに、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。 ② <ul style="list-style-type: none"> 俳句の作者の表現意図を考え、表現の仕方を評価する。 感覚や概念を表す語句・表現の幅を広げる。 時間の経過や世代による言葉の変化について理解し、筆者・作者のものの見方や考え方について考える。 ③ <ul style="list-style-type: none"> 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 	音読・朗読 発言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート （古文・文法） 自主ノート （漢字・短作文・その他復習予習） ワークシート 漢字小テスト 定期テスト
	<u>情報社会を生きる</u>	① <ul style="list-style-type: none"> 情報の信頼性の確かめ方を理解し使う。 	音読、発言内容 漢字ノート、ワーク

9	「実用的な文章を読もう/報道文を比較して読もう」【3】 「情報の信頼性」【1】	② ・目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にする。 ・文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考える。 ・文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価する。	授業ノート（現代） 自主ノート （漢字・短作文・その他復習予習） ワークシート 漢字小テスト 定期テスト
	③ ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。		
	いつも本のそばに 「読書を楽しむ」【1】 『私の一冊』を探しにいこう 『羊と鋼の森』「読書案内 本の世界を広げよう」 「読書コラム ためになるってどんなこと？」【1】 一季節のしおり 夏一	① ・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解する。 ② ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつ。 ③ ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	自主ノート （漢字・短作文・その他復習予習） ワークシート
10	4 状況の中で 「挨拶—原爆の写真によせて」【2】 「故郷」【5】 [推敲]論理の展開を整える【1】 「言葉3 慣用語・ことわざ・故事成語」【1】 「聞き上手になろう」 「質問で相手の思いに迫る」【1】 「漢字2 漢字の造語力」【1】	① ・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解する。 ・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使う。 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深める。 ・第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読む。また、学年別常用漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れる。 ② ・文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価する。 ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつ。 ・文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考える。 ・話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりする。 ・目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を考える。 ③ ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	音読・朗読 発言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート （現代・文法） 自主ノート （漢字・短作文・その他復習予習） ワークシート 漢字小テスト 定期テスト
	5 自らの考えを 「複数の意見を読んで、考えよう」【3】	① ・情報の信頼性の確かめ方を理解し使う。	音読、発言内容 漢字ノート、ワーク

11	<p>「考えを効果的に伝えよう」「多角的に分 析して批評文を書く」 【5】 「漢字に親しもう3」 【1】 「文法への扉2 『ない』の使いかわ らない?→文法2 文法のまとめ 【1】 「音読を親しもう『初恋』」 【1】 一季節のしおり 秋一</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深める。 ・第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読む。また、学年別常用漢字配当表に示され ている漢字について、文や文章の中で使い慣れる。 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の 中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 	<p>授業ノート (現代・古文・文法) 自主ノート (漢字・短作文・その 他復習予習) ワークシート 漢字小テスト 定期テスト</p>
	<p>6 いにしえの心を受け継ぐ 「和歌の世界」「音読を楽しもう 『古今和歌集』仮名序 【1】 「君待つとー『万葉』『古今』『新古今』 【2】 「夏草ー『おくのほそ道』から 【4】 「古典名作選」 【1】</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむ。 ・長く親しまれている言葉や古典の一部を引用するなどして使う。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価する。 ・文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫する。 ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつ。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝 え合おうとする。 	
	<p>7 価値を生み出す 「それでも、言葉を」 【4】 「漢字3 漢字のまとめ」「漢字に親し もう4」 【1】 [話し合い]話し合いを効果的に進めよう 一季節のしおり 冬一 「合意形成に向けて話し合おう」 「課題解決のために会議を開く」 【4】</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事例を挙げるなどして、抽象的な概念への理解を深める。 ・筆者の見方・考え方を踏まえ、言葉について自分の意見をもつ。 ・第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読む。また、学年別常用漢字配当表に示され ている漢字について、文や文章の中で使い慣れる。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合意を形成するための効果的な話し合いの進め方について考える。 ・多様な考え方を認め、互いの考えを生かしながら話し合い、合意形成を目指す。 ・複数の発言や共通点を見出すなど、具体的な事例を抽象化し整理する。 	

2	<u>いつも本はそばに</u> 「本は世界への扉/天、共にあり/極夜行」 「読書案内 本の世界を広げよう」 【1】	① ・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解する。 ② ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつ。 ③ ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	漢字ノート、ワーク 自主ノート （漢字・短作文・その他復習予習）
	8 未来へ向かって 「温かいスープ」 【2】 「アラスカとの出会い」 【2】 「律儀な桜」 【2】 「わたしを束ねないで」 【2】 「三年間のあゆみを振り返ろう」 「冊子にまとめて、発表会をする」 【5】 「初日」 「漢字に親しもう5」 【1】	① ・文章を読み、人との出会いや人生について、考えを深める。 ② ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつ。 ・文章を読み、人と自然、時とともに変わるもの、変わらないものに思いをはせる。 ・詩の中の言葉や表現から作品の情景や心情、作品のもつメッセージを捉え、自分の可能性について考える。 ③ ・文章の種類と特徴について理解する。 ・構成を工夫し、内容を効果的に伝える。 ・場の状況に応じ、わかりやすく話す。	音読・朗読 発言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート（現代） 自主ノート （漢字・短作文・その他復習予習） ワークシート 漢字小テスト 定期テスト
巻末教材	<u>文法・漢字</u> 「文法 一、二年生の復習」 「文法1 文法を生かす」 「文法2 文法のまとめ」 「小学校六年生で学習した漢字一覧」	① ・第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読む。また、学年別常用漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れる。	授業ノート 自主ノート

定期テスト範囲（予定）

1学期期末テスト	2学期中間テスト	2学期期末テスト	学年末テスト
1 深まる学びへ ～ 3 言葉とともに	3 言葉とともに ～ 4 状況の中で	5 自らの考えを ～ 6 いにしえの心を受け継ぐ	7 価値を生み出す ～ 8 未来へ向かって

学習上のアドバイス

授業について

- ① 学力の向上は、とにかく授業を大切にすることが一番です。授業は正解を言い合いに来る所ではありませんから、安心して積極的に発言・発表しましょう。
- ② 疑問点を明らかにして授業に臨み、その疑問を解決する、という姿勢で毎授業を大切にしてください。いつでも質問に応じます。
- ③ 受験とは、その延長上にあるものです。「集団で学ぶことは個人のそれに勝る」と信じて、一緒にがんばっていきましょう。

家庭学習のアドバイス

- ① 漢字学習と音読は、毎日取り組みましょう。

② 毎日やるべきことを自分で「決める」ことが大切です。受験の一側面で右往左往するのではなく、済ませることと挑戦することに分けて積極的・継続的に取り組みましょう。

その他

① 日本語として使われている漢字や言葉遣い、ものの見方や考え方を学び合う教科ですから、得意不得意や好き嫌いを言わず、3月までがんばってください。

② 漢字検定を校内で実施しますので、廊下に掲示してお知らせします。読書については良書や難しい文章を選択し、速読することを習慣にするとよいです。